

Library News



京教図書館 News

2008

6

私のすすめるこの1冊・・・沖花 彰(理学科 教授)

R. P. ファインマン著 釜江常好、大貫昌子訳 『光と物質のふしぎな理論—私の量子電磁力学』

ファインマンはアメリカの非常に著名なノーベル物理学賞受賞者の一人であるが、また非常に分かりやすい講義を行うことでも定評があり氏の講義ノートをもとにした「ファインマン物理学」と呼ばれる教科書は不朽の名著となっている。そんな氏が量子電磁力学 (QED) という非常に難しい物理学を一般向けに行った講演を書物にしたのがこれである。そういう意味でこの本は難しい物理の本だが物理を専門としない人でも読んでわかる面白い本である。その証拠にこの訳者大貫氏は物理の専門家ではない。ファインマンが素人の方にもわかるようにとあえて「訳者には物理学に関してずぶの素人を」という条件をだされたそうである。読んでみるとこれまで持っている「普通の考え方」を 180° 転換させられるし「目からうろこが落ちる」といっても決して大げさではない。特におすすめが「2章光の粒子」だ。1章はその先を理解するための準備なのでこの1, 2章だけ読んでも十分価値がある。真っ先にあげられているのが中学校で習う「鏡に光が当たる反射の話」だ。鏡にあたって跳ね返る光はどういう道筋を通るだろう。中学校では入射と反射が等しい角度になるよう鏡に当たって跳ね返ると学習する。おそらくほとんどの人は何の疑問もなくそう確信している。しかしこの本では光は鏡のどの部分にも同じ確率で当たって跳ね返るといふのだ。本当にどんな部分にもあたって跳ね返っているか確かめるには跳ね返りそうにない部分のみ残してあとはけずりとしてしまえばいい。そうするとふしぎなことに反射の法則に従わない道筋をとおって光がやってくる。これが高校物理で習う回折格子の実験だ。実際われわれが目にする光の道筋はそういういろんな道筋を通る確率（正しくは確率振幅）を足し合わせたときに表れるといふのだ。確率を足し合わせるといふのは量子力学を理解するとき誰もがつまづく「重ね合わせの理論」と呼ばれるものだが、氏はそれを向きと長さをもった矢印を使って説明する。矢印の長さはその道を通る確率の大きさを表し（等しい確率だから長さは同じ）向きは時計の針のように道筋を進んだ時間だけぐるぐる回る。長い道筋を通ると矢印はたくさん回ると短い道筋だと少ししか回らない。そうやってできたたくさんの矢印を足し合わせると打ち消しあって効果がなくなる部分と矢印がそろって効果が残る部分がわかる。その残った部分というのがわれわれが学習する反射の法則や屈折の法則になる。光は決して特別な道筋だけを選んで進んでいるわけではないのだ。

『光と物質のふしぎな理論—私の量子電磁力学』 R.P.ファインマン著 釜江常好、大貫昌子訳
出版社：岩波書店 出版年：1987 開架図書館南館1Fにあります。

■ 図書館からのニュース

1. 論文検索・収集法講座のご案内

雑誌論文の検索から入手方法までを、パソコンを用いてデータベース CiNii を中心に実習形式で説明します。5月の開催予定日時は下記の通りです。

下記の日時に図書館カウンター前にお越し下さい。予約は不要です。ご参加をお待ちしています。

日時	6月 2日 (月) 16:30-17:00	6月 18日 (水) 10:30-11:00
	6月 6日 (金) 17:30-18:00	6月 24日 (火) 16:30-17:00
	6月 10日 (火) 15:00-15:30	6月 26日 (木) 16:30-17:00
	6月 12日 (木) 11:00-11:30	

2. 連合教職実践研究科 図書館ガイダンス開催について

今年度開校の連合教職実践研究科入学者を対象としたパワーポイントを使用しての図書館ガイダンスを次の日程で開催します。

多数のご参加をお待ちしています。

6月12日 (木) 18:00-18:30 F16講義室

3. 「うた」と「おはなし」の会について

5月11日(日)に附属図書館視聴覚室で「うたとおはなしの会」を開催した。6年前にスタートしたこの会は、地域の就学前の子どもたちと保護者を対象に幼児教育科音楽教育ゼミに所属する学生が中心となって年2回(春・秋)開催しているもので、今回で10回目を迎えた。当日はあいにくの曇り空にも関わらず109名の親子の来場があり、会場は熱気につつまれた。今回は今までにはない演目として「落語絵本:まんじゅうこわい」を取り入れ、落語の中では最もポピュラーとされる演目で、既に知っている保護者も見受けられたが、中には「落ち」が理解できず保護者から説明を受けている幼児も見られた。学生にとっては、落語の奥深さを改めて実感すると同時に、その魅力をこれからも子どもたちに伝えたいという大きな動機付けになったようである。さらに、毎回人気を博している「楽器あそび」では、特に「本物の楽器」の魅力を伝えようとそれぞれの動物に扮した学生が歌に合わせてヴァイオリン、ドラム、トランペットなどの楽器で「やまのおんがくか」(ドイツ民謡)を演奏した。子どもたちもそれぞれ好きな楽器を手にして演奏に加わり、得意そうな表情で“おんがくか”気分を満喫していた。

また、大型絵本、「おまえうまそうだな」では情景に合わせた電子ピアノによる生演奏(「踊る時計」(湯山昭作曲)、「波のアラベスク」(三善晃作曲)など)、そして、パネルシアター・エプロンシアター・紙芝居などでは、演じ手と子どもたちが一体となって歌をうたいながらお話しを楽しむ姿や親子がスキンシップを伴いながら触れ合う姿が見られた。当日が「母の日」でもあり、親子の愛情をテーマにした大型絵本「めっきらもっきらどおんどん」(長谷川摂子作、降矢なな絵)、「おかあさん」(田中ナナ作詞、中田喜直作曲)の歌などに合わせて親子で触れ合いを楽しむなど、会場全



体が親子の笑顔と歓声に包まれた。終了後に行ったアンケートでは、「子どもは2歳ですが、じっとして夢中で見ていました」「愛情いっぱいの中で、子どもも楽しいし親も元気になれる素敵なイベントだと思います」などの感想が数多く寄せられた。

(文 幼児教育科 平井准教授)

4. 企画展について

下記の企画展を開催予定です。詳細については次号でお知らせします。

「京教の源氏物語 ー源氏読本のうつりかわりー」 (監修：国文学科 宗雪教授)

開催期間： 7月1日～8月9日 (予定)

場 所： 京都教育大学附属図書館内



■ 論のくちび理のむすび・・・平石隆敏(社会科学科 教授)

「プレスと自由と社会的責任理論」

平石隆敏：京都教育大学紀要 No.112：pp.69-80

日々の内外の出来事を伝える「ニュース」は私たちにとってなくてはならないものです。そしてニュース・メディアや報道機関が社会のさまざまな事象を掘り下げ、人々に問題提起をしていく点において、「報道の自由」は大きな意義をもっています。しかし他方で、「やらせ」や市民への報道被害、メディアの商業主義などによって、人々の間に広く深い報道不信が広がっていることもまた事実です。はたして報道は「自由」であるべきなのでしょうか、それとも一定の「責任」を負うべきなのでしょうか。

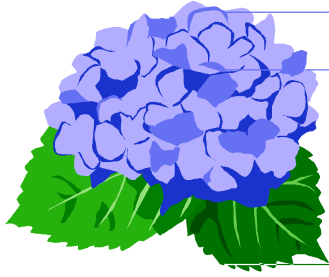
この論文では、20世紀後半に展開された報道機関の「社会的責任」をめぐる議論を検討しながら、「報道の自由」とはいかなるものであるかについて考察しました。

まず「プレスと自由」には二通りの意味合いがあります。17～18世紀には、「プレスと自由」とは人々が「印刷機 (プレス機)」をつかって自分の意見を活字にして表明する自由、つまり「出版の自由」を意味するものでした。しかし19世紀以降にニュース・メディアが産業として確立され、さらに巨大ビジネスとなっていくこと、またジャーナリズムが専門職化されていくことにともない、「プレスと自由」は独占的なニュース・メディア、報道機関のもつ自由という意味をも帯びるようになります。

前者の意味での「プレス・出版の自由」は、市民の表現の自由として正当化することができます。しかし、後者の意味での「プレス・報道機関の自由」には特別な正当化、つまり社会にとって「報道機関の自由」がないよりもあった方がよりよい結果をもたらすのだということが示されなければなりません。そして、そのように「自由な報道機関」の存在が社会にとって有益であることを示すこと、実はそれこそが「報道の社会的責任」が問おうとしていることなのだと思います。

全文は図書館HP「京都教育大学紀要」で、ご覧いただけます。

■ 図書館開館スケジュール



(通 常)

開館時間 : 9:00

閉館時間 : 21:00

一部期間は17:00に閉館します

下記カレンダー「~17:00」と記載

6

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
1		2		3		4	整	5		6		7	
	休館						休館						~17:00
8		9		10		11		12		13		14	
	休館												~17:00
15		16		17		18		19		20		21	
	休館												~17:00
22		23		24		25		26		27		28	
	休館												~17:00
29		30											
	休館												

6月4日(水)は館内整理のため休館します。

7

日	SUN	月	MON	火	TUE	水	WED	木	THU	金	FRI	土	SAT
				1		2	整	3		4		5	
							休館						~17:00
6		7		8		9		10		11		12	
	休館												~17:00
13		14		15		16		17		18		19	
	休館												~17:00
20		21	祝	22		23		24		25		26	
	休館	休館											~17:00
27		28		29		30		31					
	休館												

7月2日(水)は館内整理のため休館します。

7月21日(月)は祝日のため休館します。

京教図書館 News No. 93 2008年6月号

編集発行：京都教育大学附属図書館

発行日：平成20年6月2日

内容に関するお問い合わせ先：

附属図書館 (内線8176)



京都教育大学